



城東区マスコットキャラクター
「コスマちゃん」

(仮称)城東区将来ビジョン3.0 (2023(令和5)年度～2027(令和9)年度) の策定に向けて

2022(令和4)年9月
大阪市城東区役所

資料1

目次

本資料の位置づけについて	・	・	・	・	・	2
I. 城東区将来ビジョンについて	・	・	・	・	・	3
II. 区の現状と課題	・	・	・	・	・	5
III. 将来像と基本理念	・	・	・	・	・	16
IV. 施策展開の方向性	・	・	・	・	・	17
～ SDGsを意識した区政運営 ～	・	・	・	・	・	18
IV-1. 人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ豊かなまちへ	・	・	・	・	・	19
IV-2. 地域で支え合う安全で安心なまちへ	・	・	・	・	・	20
IV-3. 安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く子どもを育むまちへ	・	・	・	・	・	21
IV-4. 地域が支えあい、住みなれた場所で安心して暮らせるまちへ	・	・	・	・	・	22
V. ビジョンの推進に向けて	・	・	・	・	・	23

本資料の位置づけについて

本資料は、現行の「大阪市城東区将来ビジョン（平成30（2018）～令和4（2022）年度）」の計画期間が今年度末をもって終了することに伴い、次期将来ビジョンの策定に向けて、区政会議の場で委員の皆さんにご検討、ご論議いただくにあたって、構成（骨子）の案をお示しするものです。

委員の皆さんにおかれましては、それぞれのご経験やご専門の立場から、資料に記載されている内容につきまして、もしくは記載されていなくとも、区の将来像を明らかにする将来ビジョンの策定にあたって検討すべき内容がございましたら、何とぞ、率直に、建設的なご意見を賜ればと存じます。

なお、本日の部会でのご議論、ご意見を踏まえまして、次期の「城東区将来ビジョン」（案）を作成、次回の区政会議の場でお示しし、改めてご意見を賜ることいたします。



I 城東区将来ビジョンについて

区将来ビジョンとは

区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての区のめざすべき将来像、将来像の実現に向けた施策展開の方向性などをとりまとめ、区民の皆さんに明らかにするものです。

城東区将来ビジョンの計画期間

当初、概ね5年後（平成29年度）の城東区の姿を見据えて、平成25年4月に「城東区将来ビジョン ☆輝く城東区☆」を策定、その後、期間の終了に伴い、改めて概ね5年を計画期間とする、現行の「大阪市城東区将来ビジョン（平成30年（2018）～令和4（2022）年度）」を策定、城東区のめざすべき将来像として、「住んでよかったですと思えるまち

～人が輝き活気にあふれ、まちに愛着があること～」を掲げ、区政の推進に取り組んでまいりました。

次期城東区将来ビジョンにつきましても、同様に計画期間を概ね5年とし、「（仮称）城東区将来ビジョン3.0」として、施策展開の方向性などをお示しします。



I 城東区将来ビジョンについて

区運営方針との関係について

区運営方針は、区将来ビジョンで示された施策展開の方向性に沿って年度ごとの施策・事業の取組みを明らかにする単年度のアクションプランとなります。

区長は毎年度の区運営方針のPDCAサイクルを通じて、区将来ビジョンの進捗を管理します。



II 区の現状と課題

区の創設

- ・1943（昭和18）年4月1日

区の地勢

- ・大阪市の北東部（大阪城の東部）に位置
- ・地勢的に東部の低湿地帯である旧大和川流域に属し、標高1～2mと区域全般に低く平坦
- ・東西に寝屋川と第二寝屋川が流れ、南北に城北川、平野川、平野川分水路が通じるなど、河川が多い。

区の交通網

- ・鉄道交通網では、大阪メトロ（地下鉄）谷町線・長堀鶴見緑地線・今里筋線・中央線、JR学研都市線・おおさか東線、京阪電鉄が区内を走り、交通利便性が良好。
- ・道路交通網では、東西方向に古市清水線（国道163号）、東野田茨田線（鶴見通）、片町徳庵線（城見通）、中央大通が走り、南北方向には、新庄大和川線、森小路大和川線、豊里矢田線（一部事業中）、区内中央部をカギ型に国道1号が走るなど都心へのアクセスも良好。



II 区の現状と課題

区の歴史

・第二次世界大戦中の1943（昭和18）年4月、大阪市の22区制実施とともに7増区の1区として東成区の北部地域と旭区の南部地域を併せて分区独立し誕生しました。

・明治時代から鉄道が開通し、陸軍砲兵工廠や紡績工場ができ、その後、次第に関連工場が集まり、また寝屋川や第二寝屋川、城北川沿いには金属・機械・化学関係の工場が集中するようになりました。また、区内内部には衣料・縫製関係の事業所も多く、生野区、東成区、鶴見区とともに市内東部の工業地帯を形成しました。



昭和40年頃の城北運河



高層住宅が立ち並ぶまちなみ

・戦後から高度経済成長期を経て、区内北東部の関目・董地区は、土地区画整理事業により、緑の多い整然とした街区となり、また西南部の森之宮地区では、かつての陸軍砲兵工廠跡地にJR・地下鉄の車庫や高層住宅団地が、さらに鴨野地区も再開発により新たな高層住宅群が出現するなど、まちなみは大きな変貌をとげてきました。

II 区の現状と課題

区の歴史

- ・現在、区内各地区で工場等の転出跡地などに高層集合住宅や大規模小売店が相次いで建設され、2016（平成28）年3月には、区役所・区民センター・図書館・老人福祉センターが一体となった複合施設の供用が開始されるなど生活・交通至便な住宅地となっています。



大阪公立大学 森之宮キャンパス イメージパース



城東区複合施設 外観

- ・今後も、水辺環境整備、緑化の推進に加え、大阪公立大学森之宮キャンパスが2025（令和7）年度を目指して整備されるなど、多世代・多様な人が集い交流する国際色あるまちづくりが進められ、職・住のバランスのとれた区としての発展に大きな期待が集まっています。



II 区の現状と課題

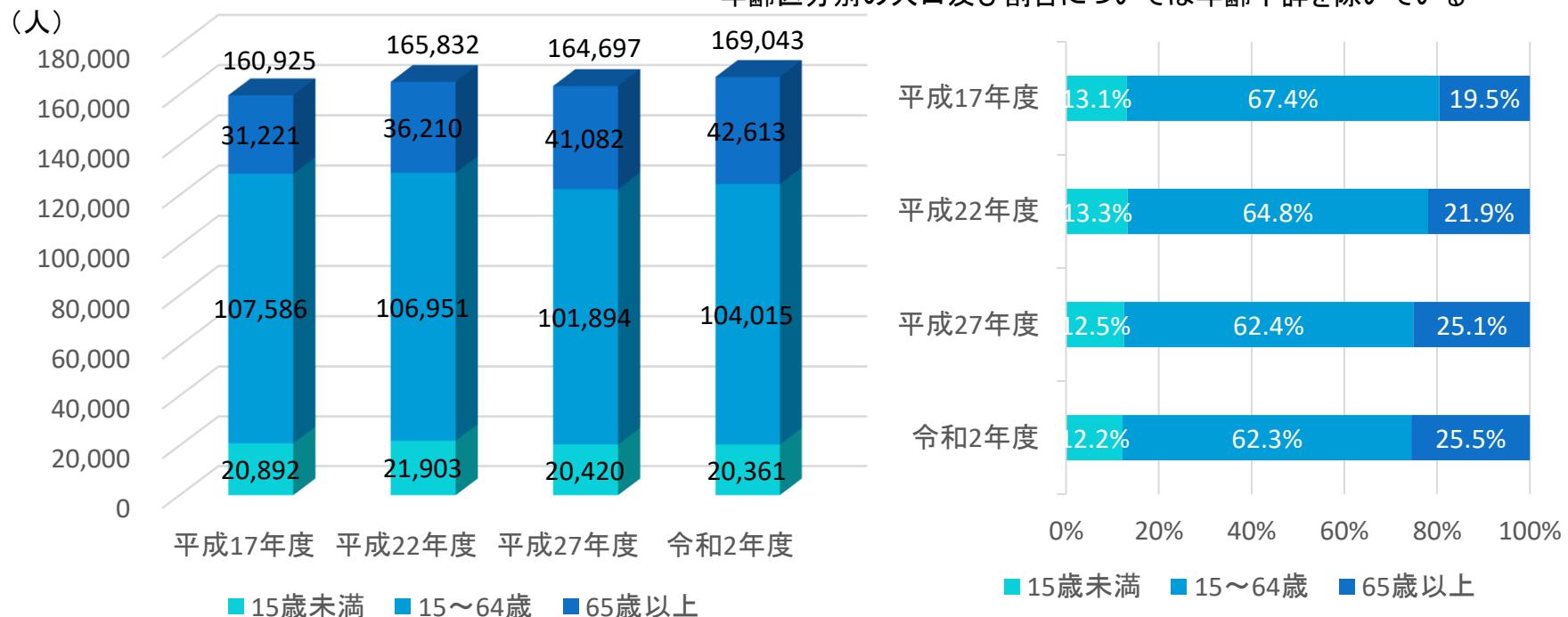
区の概要

	城東区	大阪市	(資料)
面積	8.38km ²	225.33km ²	2022.4 国土地理院
人口	168,133人	2,756,885人	2022.8 推計人口
世帯数	83,630世帯	1,503,694世帯	"
人口密度	20,064人/km ²	12,235人/km ²	"
外国人比率	2.92%	5.05%	2022.3末 住民基本台帳登録
人口1人あたりの公園面積	1.99m ²	3.28m ²	2021 区政概要
事業所数	5,070カ所	175,291カ所	2021 経済センサス活動調査
従業者数	52,589人	2,381,704人	"

II 区の現状と課題

人口の推移

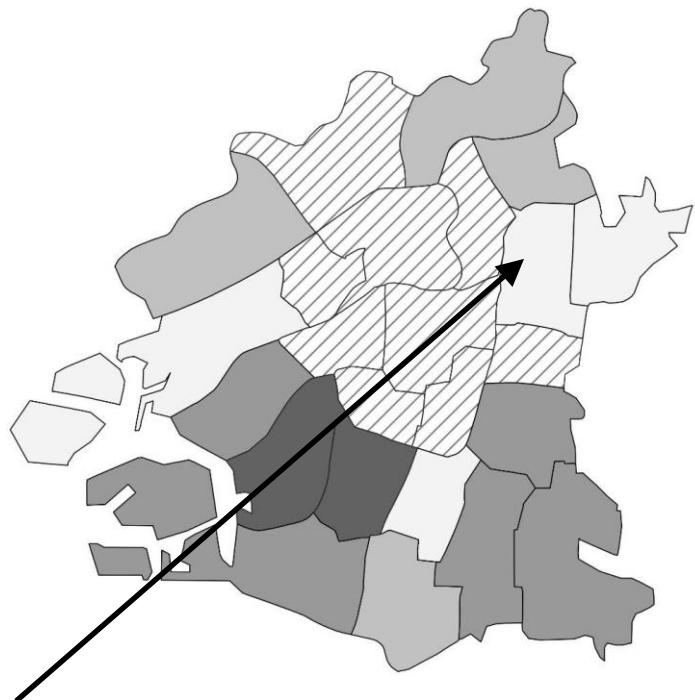
(資料)各年の国勢調査による (注)総数は年齢「不詳」を含むため内訳合計とは一致しない
年齢区分別の人口及び割合については年齢不詳を除いている



- ・城東区の人口は、2015（平成27）年に平成2年以降初めて減少に転じたものの、令和2年度に再び増加に転じました。また、65歳以上人口の占める割合は25.5%と引き続き増加傾向にあります。

II 区の現状と課題

各区の総人口・将来予測（2015⇒2045増減率）



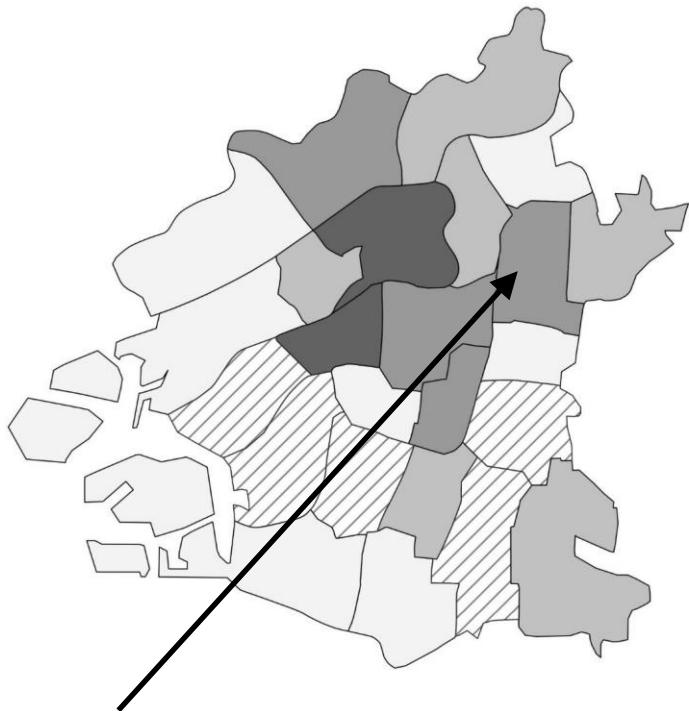
	プラス(増加)	北区、都島区、福島区、中央区、西区、天王寺区、浪速区、淀川区、東成区
	▲10%未満	此花区、 <u>城東区</u> 、鶴見区、阿倍野区
	▲20%未満	西淀川区、東淀川区、旭区、住吉区
	▲30%未満	港区、生野区、住之江区、東住吉区、平野区
	▲30%以上	大正区、西成区

(資料)総務省「国勢調査」
大阪市「大阪市の将来推計人口(令和元年度)

- ・城東区の人口は2045年においては2015年比で減少が予測されています。

II 区の現状と課題

各区の高齢者人口推移・将来予測（2015⇒2045増減数）



	マイナス(減少)	港区、大正区、生野区、東住吉区、西成区
	5千人未満の増加	此花区、浪速区、西淀川区、東成区、旭区、住之江区、住吉区
	5千人以上ー 1万人未満の増加	都島区、福島区、東淀川区、鶴見区、阿倍野区、平野区
	1万人以上ー 1万5千人未満の増加	中央区、天王寺区、淀川区、 <u>城東区</u>
	1万5千人以上の増加	北区、西区

(資料)総務省「国勢調査」
大阪市「大阪市の将来推計人口(令和元年度)

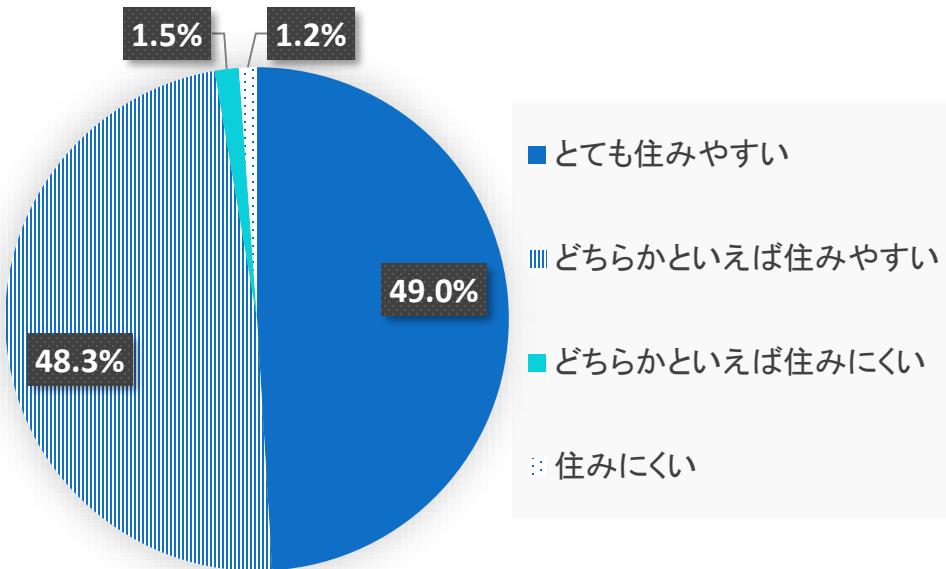
・一方、城東区の高齢者（65歳以上）人口は、2015年から2045年にかけて増加が予測されており、さらなる高齢化率の上昇が見込まれています。

II 区の現状と課題

区民意識

(資料)令和3年度城東区民アンケート(無作為抽出)による

- 城東区はあなたにとって住みやすいまちですか。



- とても住みやすい
- どちらかといえば住みやすい
- どちらかといえば住みにくい
- 住みにくい

住みやすいと感じる主な理由
鉄道やバスなど、交通が便利(40.7%)
買い物に便利(26.3%)
通勤・通学が便利(9.7%)
など

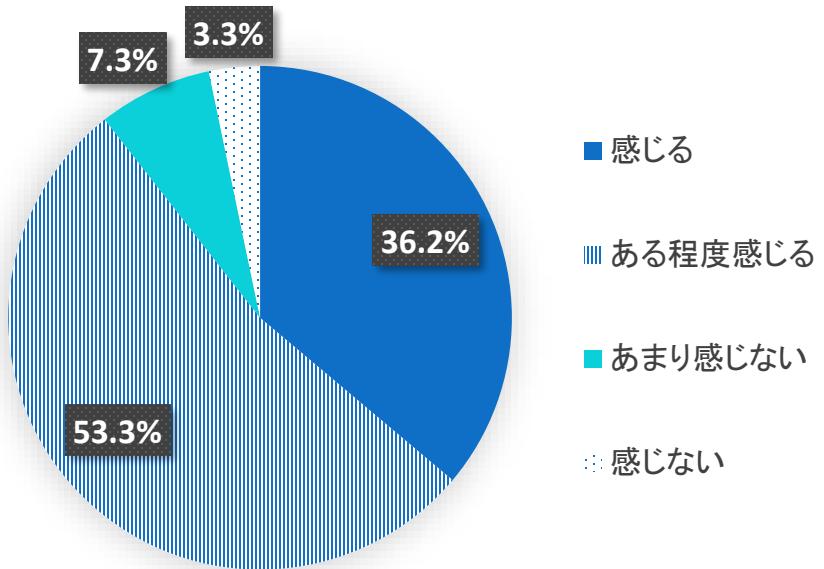
- ・「とても住みやすい」（49.0%）が最も高く、「どちらかといえば住みやすい」（48.3%）を合わせると、9割以上（97.3%）の方に「住みやすい」と回答いただいています。

II 区の現状と課題

区民意識

(資料)令和3年度城東区民アンケート(無作為抽出)による

- 城東区に愛着を感じますか。



愛着を感じる主な理由

交通の便利が良いから(40.9%)

ふるさとであるから(18.5%)

まちの雰囲気が良いから(17.0%) など

- 「ある程度感じる」（53.3%）が最も高く、「感じる」（36.2%）を合わせると、9割弱（89.5%）の方に「愛着を感じる」と回答いただいている。

II 区の現状と課題

区民意識

(資料)令和3年度城東区民アンケート(無作為抽出)による

- あなたは、城東区役所が重点的に取り組むべきことは何だとかんがえていますか。

項目	割合	備考
安全・安心なまちづくり(防災・防犯)	35.4%	どの年齢層でも高い割合(1~2位)である
子育て支援・青少年健全育成	17.0%	29歳以下、30歳～39歳の年齢層では最も高い割合である。
文化・歴史を活用したまちの魅力向上	1.9%	
まちのにぎわいづくり	5.9%	
地域活動の活性化	5.6%	
福祉・保健	15.9%	50歳以上の年齢層については、防災・防犯に次いで高い割合である。
緑化・美化	6.7%	
教育	3.3%	
商店街の振興	4.4%	
ものづくり支援	1.5%	
その他	2.3%	「地球温暖化」、「すべて」、「特になし」など

- ・全世代を通じて「安全・安心なまちづくり（防災・防犯）」が高いです。なお、39歳以下の世代では「子育て支援・青少年健全育成」が高く、50歳以上では「福祉・保健」が高い割合を占めています。

II 区の現状と課題

区の課題認識

- ・現行の将来ビジョン及び毎年度の区運営方針において、「城東区に住んでよかったですと思えるまち～人が輝き、活気にあふれ、まちに愛着があること～」を区のめざすこととして掲げ、各事業・施策に取り組んできました。
- ・現在、人口密度が大阪市内でも高く、区民アンケートでも多くの方に「住みやすい」と評価、城東区に「愛着」を感じていただいているなど、「住のまち」として認識いただいていると考えられます。
- ・一方、今後、人口減少や少子高齢化がより一層進んでいく状況の中、引き続き住みやすく、子ども、高齢者、障がい者などすべての人がいきいきと、安心して地域で暮らしていくける地域づくりを進めていくには、地域のみなさんのご協力は不可欠であり、地域での活動の担い手、参加者を広げていくことは重要な課題です。
- ・引き続き、城東区役所は、区民ニーズの高い防災・防犯、子育て、健康・福祉の分野に力を注ぐのはもちろん、区民のみなさんをはじめ、地域団体、企業など城東区に関わるみなさんと協働しながら、さまざまな課題の解決に向けて取り組むべく、みなさんが信頼できる、区民のための区役所づくりが必要と考えます。